

地方独立行政法人茨城県西部医療機構

令和4年度の業務実績に関する評価結果

全体評価・大項目評価

令和5年8月

筑西市

I 全体評価

地方独立行政法人茨城県西部医療機構の令和4年度の業務実績については、おおむね中期目標及び中期計画の達成に向けた年度計画どおりに進んだものであった。大項目ごとの評価については、Bが4つであり、また、小項目評価全体の平均については、3.0であり、全体としておおむね計画どおりに進んだと判断した。

大項目ごとの特記事項として、「1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」については、新型コロナウイルス感染症への対応として、茨城県からの要請に応じた入院受入病床を確保するとともに、保健所との連携によるメディカルチェック、検査、診療、クラスター班としての活動を行ったほか、災害時に新興感染症にも対応できるように保健所、地域の医療機関、消防本部、警察署などと連携した訓練を行ったことは評価できる。

一方で、中期計画及び年度計画において指標とした救急搬送応需率については、目標を下回っているため改善に向けた取組や、地域医療支援病院として紹介率及び逆紹介率をさらに向上させる具体的な取組については、引き続き課題として対応していただきたい。

「2 業務運営の改善及び効率化に関する事項」については、病院長が職員と面談して意見を聞き取り、速やかな対応を行うことで職員満足度の向上に努めていること、医師の働き方改革の施行に向けた取組として医師の要望を踏まえたうえで業務負担の軽減を図っていること、院内保育室と病児保育室が連携することで、職員が仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに努めていることなどは評価できる。

また、毎月の収支報告を踏まえた経営分析を行い、職員の経営感覚とコスト意識を高めるとともに、適切な評価に基づく人事給与制度を整備し、職員の意欲を引き出す取組を推進していただきたい。

「3 財務内容の改善に関する事項」については、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として入院患者を受け入れ、茨城県の要請に基づく病床の確保により国の補助金受けることができたこともあり、経常収支比率は年度計画の目標を上回ることができたことは評価できる。

また、総務省が公表する病院事業決算状況（2018（平成30）～2021（令和3）年度実績）における材料費対営業収益比率及び薬品費対営業収益比率について、地方独立行政法人が運営する類似病院（病床数200床以上300床未満）の平均より抑制されているなかで、価格交渉と後発医薬品の採用などによる診療材料及び医薬品費の購入価格の節減、委託料の引き下げを図ることができたことは評価できる。

一方で、入院患者の確保や病床稼働率の向上が十分ではなく、医業収益の確保に課題があるため、具体的な方策を明確にしたうえで、さらなる経営の健全化に努めていただきたい。

「4 その他業務運営に関する事項」については、引き続き、医療廃棄物の分別を見直すとともに、リサイクル可能な資源の分別回収を徹底するほか、再生可能エネルギーの活用を検討いただきたい。

II 大項目評価

〔第1表 大項目の評価方法〕

大項目評価は、小項目評価の結果及び特記事項の記載内容を考慮し、大項目ごとに中期目標及び中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行う。

（地方独立行政法人茨城県西部医療機構年度評価実施要領第3条第2項第3号）

評点	評 語	小項目評価平均点	摘 要
S	特筆すべき進捗状況にある	4.5以上	各段階の評価は、大項目ごとの小項目評価評点の平均点（小数点以下第2位四捨五入）で区分する。
A	計画を上回って進んでいる	3.5以上4.5未満	
B	計画どおり進んでいる	2.5以上3.5未満	
C	やや遅れている	1.5以上2.5未満	
D	重大な改善事項がある	1.5未満	

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

(1) 評価結果

B

(2) 判断理由

小項目評価の結果、平均点は、3.2であり、B評価（計画どおり進んでいる）が妥当と判断した。

(3) 小項目評価の集計結果

分野	評価	5	4	3	2	1
	項目数	大幅に上回って 実施	上回って実施	順調に実施	十分に実施でき ていない	大幅に下回る
1 医療サービスの向上	8		4	3	1	
2 医療提供体制の整備	3			3		
3 患者・住民サービスの 向上	4			3	1	
4 地域医療連携の強化	2			2		
5 信頼性の確保	3		1	2		
合計	20	0	5	13	2	0

(4) 大項目評価に当たり考慮した事項、意見等

1 医療サービスの向上		評価	意見等
小項目			
(1)	患者中心の安全で心のこもった良質な医療の提供	3	患者やその家族が診療内容を理解し、納得して医療を受けられるようにインフォームド・コンセントを徹底していることは評価できる。 また、入院患者やその家族が安心して医療を受けられるように、引き続き、クリニカルパスの活用や患者総合支援室を中心とした入退院支援を推進していただきたい。
(2)	急性期を中心に地域特性を反映する医療の提供	3	地域における救急搬送患者を多く受け入れており、急性期医療の中心的な役割を果たしていることを評価できる。 また、他院の医療従事者や消防本部にも参加いただく救急勉強会を開催し、医療職の知識及び技能の向上や、他職種との連携を深めていることを評価できる。 さらに地域の医療機関や高次医療機関との連携を強化し、医療機能の分担を推進するとともに、引き続き、地域で求められる急性期医療の役割を果たしていただきたい。
(3)	がん、脳疾患、心疾患、糖尿病への対応	4	地域の医療機関と連携し、消化器がん全般に関する紹介を積極的に受け入れ、腹腔鏡手術や化学療法による医療提供を行ったほか、がんに関する外来化学療法の件数を、2021（令和3）年度の183件から2022（令和4）年度は410件に増やせたことを評価できる。 また、心不全に関する救急受入れを行い、高次医療機関と連携して対応したとともに、心エコー検査に対応できる臨床検査技師を増やしたこと、糖尿病に関する専門的検査、診断、急性合併症や慢性合併症の治療など、地域で求められる役割を担ったことを評価できる。 脳疾患については、引き続き、ICTを活用し、JOINによる画像共有などにより、高次医療機関との連携を推進していただきたい。
(4)	救急医療の取組	2	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、救急搬送の応需が困難な場合もあったなか、救急外来及びHCUを一元化する組織改編を行ったことで、マンパワーの適切な配分に努めたことや、院内外の医療従事者による救急勉強会を定期的に開催したことは評価できる。 一方で、中期計画及び年度計画において指標とした救急搬送応需率については、76%であり、目標の90%と比較して14ポイント下回る実績であった

			め、改善に努め、地域における2次救急医療機関としての役割を果たせるよう努めていただきたい。
(5)	災害拠点病院としての災害への取組	4	防災訓練について、医師会、保健所、消防本部、警察署及び連携医療機関にも参加いただき、協力体制の強化を図ったとともに、新興感染症への対応を想定した訓練を行うことができたことを評価できる。
(6)	小児医療への取組	3	小児科医が講師となり、地域の医療機関を含めた救急勉強会を開催して連携の強化を図ったことを評価できる。 引き続き、小児入院患者を積極的に受け入れるとともに、レスパイト入院の受入についても充実化に努めていただきたい。
(7)	地域包括ケアシステムの推進	4	患者総合支援室やリンクナースを中心とした他職種の連携により、入退院支援の体制を充実させたこと、在宅医療連携グループを拡充し、患者のフォローアップ体制を強化したこと、また、居宅介護支援部門において、スタッフの増員や新たな加算を取得したことなどを評価できる。 引き続き、関係機関との連携を強化し、地域包括ケアシステムの充実を図っていただきたい。
(8)	感染症への対応	4	新型コロナウイルス感染症への対応について、県の要請に応じて病床を確保して陽性患者を受け入れたとともに、保健所と連携して地域の施設や医療機関においてクラスター班として活動したことや、災害時における新興感染症への対応に向け、地域の医療機関等とともに訓練を行ったことを評価できる。

2 医療提供体制の整備

小項目		評価	意見等
(1)	優秀な医療スタッフの確保	3	医師の働き方改革の施行に向け、労働時間の管理や指針を策定し、労働環境の改善に努めているとともに、臨床研修医や専攻医を積極的に受け入れ、育成に努めていることは評価できる。 看護師の確保については、看護学校等の就職説明会への参加、実習生の受入、奨学金制度などにより、徐々に増員が図られている一方、中期計画及び年度計画において指標とした目標人数には達していないため、引き続き、積極的な確保に努めていただきたい。
(2)	医療スタッフの専門性・医療技術の向上	3	医療スタッフの専門性の向上に向け、外部研修の支援を行ったこと、認定看護師や臨床指導者の新規取得が得られたことを評価できる。
(3)	多職種連携に基づくチーム医療の実践	3	他職種が参加する診療科ごとのカンファレンスに入退院支援ナースも参加することで、連携を強化してチーム医療の提供に努めているとともに、栄養サポート

			チーム、感染対策チーム及び褥瘡対策チームが積極的に活動していることを評価できる。
3 患者・住民サービスの向上			
	小項目	評価	意見等
(1)	患者及び患者家族の満足度向上への取組	3	患者及びその家族からの意見を、院内の意見箱、公式ホームページ及び満足度調査により把握し、満足度の向上に努めていることを評価できる。 引き続き、患者及びその家族のニーズを把握し、一人ひとりの個別性に配慮して対応するとともに、職員の接遇の向上に努めていただきたい。
(2)	利便性及び快適性の向上	2	診察や検査の待ち時間調査の結果、前回の2019（令和元）年度と比較して約5分伸びているため、原因を分析して課題を明らかにしたうえで、外来診療の午後への移行や患者の逆紹介の推進など、適切な対応を行っていただきたい。
(3)	健康増進、疾病の予防及び予防医療の活動	3	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域住民の予防医療や健康への意識を高めるためのセミナー等を開催できていないため、筑波大学ヘルスサービス開発研究センター地域予防医学部門筑西市研究室による研究結果や知見を活かした啓発活動を推進していただきたい。 また、疾病予防や生活習慣病の早期発見のために、健診センター（仮称）整備を推進し、積極的な広報活動に努めていただきたい。
(4)	病児保育への取組	3	保育施設に対するパンフレットの配布や巡回支援を行っている。引き続き、地域の子育て環境整備に向けた取組を推進していただきたい。
4 地域医療連携の強化			
	小項目	評価	意見等
(1)	地域医療機関、かかりつけ医との連携（2人主治医制）	3	地域医療機関やさくらがわ地域医療センターとの連携を図っている。引き続き、地域の中核病院としての役割を踏まえた機能分担及び連携強化を推進するとともに、紹介率及び逆紹介率の向上に努めていただきたい。
(2)	地域医療支援病院としての取組	3	地域の医療機関との連携に努めているが、紹介件数及び逆紹介件数並びに紹介率及び逆紹介率については、2021（令和3年）年度の実績と比較して低下している。地域医療支援病院として、かかりつけ医との機能分担及び連携強化が求められるため、改善に向けた具体策を明確にしたうえで、取組を推進していただきたい。

			また、医療機器共同利用の件数についても、2021（令和3年）年度の実績と比較して低下しているため、広報活動などを通して増加に努めていただきたい。
5 信頼性の確保			
	小項目	評価	意見等
(1)	医療安全対策等の徹底	4	患者や職員の安全確保のため、インシデント事例に関するカンファレンスを毎日行い、情報収集と分析に努めていることや、院内安全情報を速やかな共有していること、年度計画の目標を大きく上回るインシデント報告数の実績について評価できる。
(2)	法令、行動規範、病院理念等の順守	3	引き続き、医療法をはじめとする関係法令を順守するとともに、法人の理念や基本方針を職員全員に共有することに努めていただきたい。
(3)	地域や関係者に開かれた医療施設としての取組	3	引き続き、広報誌やホームページを活用した広報活動に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症等の状況を踏まえ、地域の住民や関係者が参加できる公開講座等の開催も検討していただきたい。

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

(1) 評価結果

B

(2) 判断理由

小項目評価の結果、平均点は、3.0であり、B評価（計画どおり進んでいる）が妥当と判断した。

(3) 小項目評価の集計結果

分野	評価	5	4	3	2	1
	項目数	大幅に上回って 実施	上回って実施	順調に実施	十分に実施でき ていない	大幅に下回る
1 地方独立行政法人としての業務運営及び管理体制の構築	2			2		
2 勤務する職員に魅力ある病院づくり	3		1	1	1	
合計	5	0	1	3	1	0

(4) 大項目評価に当たり考慮した事項、意見等

1 地方独立行政法人としての業務運営及び管理体制の構築			
小項目		評価	意見等
(1)	効率的な運営及び管理体制の確立	3	引き続き、毎月の収支報告を踏まえた経営分析を行い、具体策を明確にした改善計画を策定するなど、経営意識の向上を図っていただきたい。
(2)	事務職員の職務能力の向上	3	病院経営の現状を把握し、経営感覚とコスト意識を高めるとともに、引き続き、事務能力の向上に努めていただきたい。
2 勤務する職員に魅力ある病院づくり			
小項目		評価	意見等
(1)	意欲を引き出す人事給与制度の整備	2	職員の意欲を引き出す人事給与制度の整備が求められるなか、人事評価項目に関する課題が整理されていないため、適切に対応して職員の公正な評価に努めていただきたい。
(2)	職員満足度の向上	3	病院長が職員と面談して意見を聞き取り、速やかな対応を行っていることを評価できる。引き続き、職員が気軽に相談できる体制を整備し、やりがいと満足度の向上に努めていただきたい。
(3)	働き方改革への取組	4	医師の働き方改革の施行に向けた取組として、医療支援課を新設し、医師の要望を踏まえたうえで業務負担の軽減を図っていること、また、院内保育室において、職員の勤務時間に沿った対応を行っているほか、病児保育室との連携による子どもの体調に合わせた支援を行うことで、仕事と子育ての両立がしやすい職場環境づくりを推進していることを評価できる。

3 財務内容の改善に関する事項

(1) 評価結果

B

(2) 判断理由

小項目評価の結果、平均点は、2.8であり、B評価（計画どおり進んでいる）が妥当と判断した。

(3) 小項目評価の集計結果

分野	評価	5	4	3	2	1
	項目数	大幅に上回って 実施	上回って実施	順調に実施	十分に実施でき ていない	大幅に下回る
1 経営基盤の構築	1				1	
2 収益の確保と費用の節 減	2			2		
3 計画的な投資と財源確 保	1			1		
合計	4	0	0	3	1	0

(4) 大項目評価に当たり考慮した事項、意見等

1 経営基盤の構築		
小項目	評価	意見等
(1) 経営基盤の構築	2	<p>新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として入院患者を受け入れ、病床を確保したことにより国の補助金を受けることができたこともあり、経常収支比率については、年度計画の目標を上回ることができたことは評価できる。</p> <p>一方で、入院患者の確保等が十分ではなく、医業収益の確保に課題があり、年度計画における医業収支比率の目標を達成することができなかった。</p> <p>医業収益の確保に向けた具体的な方策を明確にし、さらなる経営の健全化を図っていただきたい。</p>
2 収益の確保と費用の節減		
小項目	評価	意見等
(1) 収益の確保	3	<p>紹介件数及び逆紹介件数の増加に向け、地域医療連携室を中心に医師の意見をまとめ、地域の医療機関との連携強化につなげる取組を行っていること、また、診療報酬改定による新規加算の取得に努めていることは評価できる。</p> <p>一方で、中期計画及び年度計画において指標とした1日平均患者数や病床利用率については、目標を下回っているため、具体的な改善策を明確にし、収益の確保につなげていただきたい。</p>
(2) 費用の節減	3	<p>診療材料や医薬品について、継続的な価格交渉と後発医薬品の採用により、費用の節減を行ったこと、また、SPDの効果的な活用や契約の再検討による委託料などの節減を行ったことを評価できる。</p> <p>また、中期計画及び年度計画において指標とした人件費対医業収益比率についても、目標を達成しており、引き続き、費用の節減による効率的な病院経営に努めていただきたい。</p>
3 計画的な投資と財源確保		
小項目	評価	意見等
(1) 計画的な投資と財源確保	3	<p>引き続き、地域の医療ニーズや費用対効果を踏まえ、機器購入委員会などにおいて必要性を検討し、将来に向けた計画的な設備投資を推進していただきたい。</p>

4 その他業務運営に関する事項

(1) 評価結果

B

(2) 判断理由

小項目評価の結果、平均点は、3.0であり、B評価（計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(3) 小項目評価の集計結果

分野	評価	5	4	3	2	1
	項目数	大幅に上回って 実施	上回って実施	順調に実施	十分に実施でき ていない	大幅に下回る
1 環境問題への取組	1			1		
合計	1	0	0	1	0	0

(4) 大項目評価に当たり考慮した事項、意見等

1 環境問題への取組			
	小項目	評価	意見等
(1)	環境問題への取組	3	引き続き、医療廃棄物の分別を見直すとともに、リサイクル可能な資源の分別回収を徹底するほか、再生可能エネルギーの活用を検討していただきたい。

Ⅲ その他 全体的な意見

第2期中期目標期間（令和4年4月1日から令和8年3月31日）の最初の事業年度である令和4年度については、新型コロナウイルス感染症への対応や救急受入など、地域において求められる役割を担うとともに、最優先課題である人材確保に取り組んだほか、医師の働き方改革の施行に向けた取組など、職員が働きやすい環境の整備に努めていただいた。

今後も地域の中核病院、地域医療支援病院として、地域の医療機関等との連携を強化し、地域において求められる役割を果たし、住民に対する医療サービスを一層充実させるとともに、安定した経営基盤の構築を図っていただくことを期待する。